



議会 だより

千早赤阪
ちはやあかさか

特集：開かれた村議会を目指して
役場の組織編制が変わります！
議会のしくみとは？

一般質問

服部 幸令 議員

・村長就任後半年間の実績について

吉田 昭之 議員

・医療費無償化について
・村内の防犯強化を

井上 浩一 議員

・こども食堂について
・防犯カメラについて

田村 陽 議員

・小吹台―役場間の交通の便確保を
・ひきこもりへの支援策は
・選挙公報未配布問題に対策は

徳丸 初美 議員

・「金剛山の安全対策」について
・生活支援策を

藤浦 稔 議員

・農業地域計画の進捗状況について
・地域子育て支援拠点「ひまわり」の状況
・楠公誕生地周辺活性化交流拠点事業

vol. **151**
Feb 2025
12月定例会

12月定例会 議決結果

○全会一致で承認・同意・可決された案件

議 案 名	主 な 内 容
専決処分（令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第7号））の承認を求めることについて	令和6年10月27日執行第50回衆議院議員総選挙等に係る選挙事務費の増等
固定資産評価審査委員会委員の選任について	仲谷依之氏を選任同意
教育委員会委員の任命について	出口晴久氏を任命同意
村長の給料及び退職手当の特例に関する条例制定について	給料月額100分の10、退職手当は100分の50を減じた額を支給する旨を規定
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	懲役及び禁固が廃止され、新たに拘禁刑が創設されることに伴う関係条例の所要の改正
千早赤阪村事務分掌条例の改正について	詳細は特集ページを参照
千早赤阪村職員定数条例の改正について	村長部局2名増等
職員の退職手当に関する条例の改正について	雇用保険法の一部改正に伴う所要の改正
千早赤阪村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	家庭的保育事業所等における保育士・保育士従事者の配置基準の見直しを行う改正
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第8号）	対象者入院の増加に伴う、こども医療助成額の増等
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第4号）	介護サービス給付費の増額による所要の補正
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号）	小吹台緑公園樹木伐採業務にかかる委託料の増等
千早赤阪村議会の個人情報の保護に関する条例の改正について	懲役及び禁固が廃止され、新たに拘禁刑が創設されることに伴う所要の改正
自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	詳細はホームページを参照
慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	詳細はホームページを参照
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	令和6年人事院勧告に基づき国家公務員の給与が改正されたことに伴う、議会の議員及び特別職の職員の期末手当、一般職の職員の給料や期末手当、勤勉手当並びに会計年度任用職員の報酬等の改正
千早赤阪村会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の改正について	
特別職の職員の給与に関する条例の改正について	
一般職の職員の給与に関する条例の改正について	
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）	人事院勧告に基づく人件費の増
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第5号）	

1月臨時会 議決結果

○全会一致で可決された案件

議 案 名	主 な 内 容
千早赤阪村立いきいきサロンやまゆりの指定管理者の指定について	社会福祉法人千早赤阪村社会福祉協議会会長 川邊清氏を指定するもの
千早赤阪村国民健康保険診療所の指定管理者の指定について	医療法人正清会理事長 赤松幹一郎氏を指定するもの
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号）	令和6年度低所得世帯支援枠給付金事業に伴う事業費の増等
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	指定管理者変更に伴う看板等作成委託料の増等

議長コラム



村議会議長

千福 清英

新しい年を迎え早や1か月が経過した。昨年は、能登半島においての大地震が一年のスタートとなった。今なお、被災地の復旧・復興が道半ばであり早期の回復を願うばかりである。

本村においては、毎年関係機関の協力により、ものときの被害を想定しての訓練や、地域の方々が参加しての避難訓練等が実施されている。今後も村民の安心、安全に向け継続した訓練と、避難所の充実を望む。

一方、もうすぐ大阪・関西万博の開幕である。世界各国の人々が大阪に集合する。各国パビリオンの展示によるアピールは楽しみであり、大阪での経済効果にも期待する。

また、令和7年度予算の上程の時期である。新村長の初めての予算編成であり、村の将来を見据えた事業の予算配分や、物価上昇がまだまだ続くなか、住民目線での施策を切望する。

報告（不明な旅費）

議会だより151号で掲載しました「不明な旅費」について、村長部局より議会に対し、調査結果の報告がありましたので、住民の皆様にお伝えいたします。

【内容】

決算委員会での質疑で前村長と職員2名が飛行機で出張した際の旅費について公費負担が発生していないことが判明し、議会として調査を要望しました。

【結果】

飛行機は第三者所有のものであるため、旅費が発生しませんでした。職員2名は前村長の出張命令により出張したものであり、第三者所有の家用機で出張したことは、地方公務員法に規定される信用失墜行為に該当するとは断定できない、また第三者の負担であることから、公職選挙法における寄付行為にも該当しないと思われることと報告がありました。

今月の表紙



水分 **峯 梨那**（りんな）8歳

峯 蓮那（はすな）5歳

父 拓真
母 香里

2人の笑顔が宝物♪
これからもずっと仲良姉妹でいてね！

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

開かれた村議会を目指して

会議録をホームページで
公開しています！



各会議を傍聴できます！

定員は 10 人です。
役場 3 階議会事務局まで
お越しください。

役場 1 階のモニターで
生中継しています！



本会議の様子を Youtube
配信しています！



千早赤阪村役場公式 LINE
で議会日程を通知してい
ます！



まだの方は、この機会に友達追加ください。

議会だよりはホームページで公開しています！



※日程は 12 ページを参照ください。

※上記の二次元コードより確認いただけます。

注 目

令和 6 年 9 月議会より、本会議の様子を Youtube
配信しています！議員と行政の活発な議論を、
ぜひご視聴ください！

村民の皆様の声を真摯に受け止め、より良い議会
運営を目指します！

役場の組織編制が変わります！

注目の議案

- ・部制の再編（現行の4部制を3部制へと変更します。変更後は、総務部・民生部・産業建設部となります）
- ・新たにこども課が創設されます。

議案第59条 千早赤阪村事務分掌条例の改正について

12月定例会において、村長部局から組織編制の見直しが提案されました。本議案は全会一致で可決され、4月1日より施行されます。新たな体制のもと、菊井村長にはリーダーシップを発揮し、地域住民との連携を図ることを期待します。

議会のしくみとは？

議会は、住民の代表として、選挙で選ばれた議員によって構成され、条例や予算など村の重要事項について、十分審議し決定する機関です。

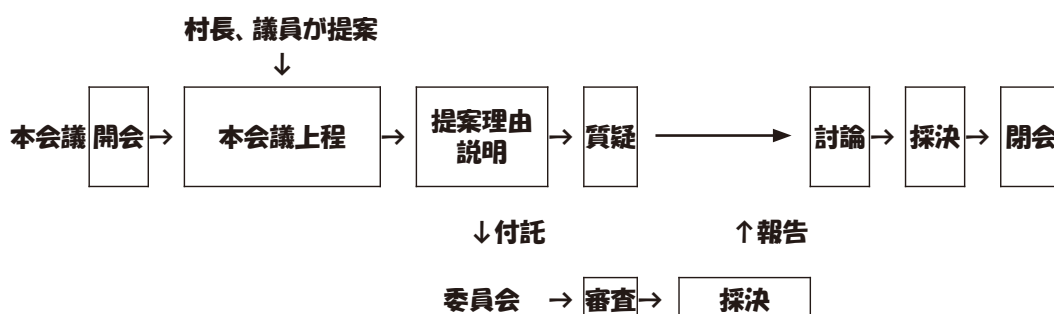


千福議長

本会議・・・議員全員で構成される会議で、議会の最終的な意思決定や一般質問を行います。

委員会・・・議案などを専門的、効率的に審査するため、委員会を設置しています。

議会の流れ





村長就任後半年間の実績について



いきいきサロンやまゆりの建替協議をしている



服部幸令 議員

問 9月議会の代表質問では、「具体的な将来像は示さず、目先の一步を積み上げていく」とのことだったが、この約5か月弱での成果は。

答 まず、9月補正で措置されたいいきいきサロンやまゆりの建替検討支援業務の進捗状況を伺う。

答 建替検討支援業務については、11月11日に入札を行い、11月15日に契約を締結した。現在は、建物の立地や施設の規模、必要な機能などの検討内容を協議している。

問 いきいきサロンやまゆりの進捗状況は、分かった。ただ、急激な人口減少やデジタル化により、どれだけの費用対効

果があるのか、甚だ疑問であることを指摘する。

「桐山地区農道整備事業について課題整理を行う」ということを、9月議会の代表質問で答弁されたが、その結果は。

そもそも当該事業は前村長のトップダウンで始まったものも含めて伺う。

また、9月議会の一般質問の答弁で、「スズメバチ駆除に関するホームページの修正等を実施する」だったが、修正をされたのか、併せて伺う。

答 桐山地区の農業課題としては、離農者や規模縮小により遊休農地が増加するなどの問題があり、引き続き調整している。

桐山地区の農道整備事業の経緯は、令和5年度予算編成時に、前村長より分校跡地に農道の整備を行うよう指示があった。しかし、事業を進める

に当たっては公平公正に事業を進める必要があるため、4月の農業委員会、区長会、実行組合長会の場で事業の説明を行った。農道整備を希望される農家がいる場合は、当該地区で話をまとめて村に相談するよう投げかけた結果、桐山地区から希望があった。

その後、桐山地区の座談会の中で農道整備の協議をした結果、現行の農道ルートが示され、令和5年度に構想設計をした。

スズメバチ駆除に関するホームページの修正については、10月1日に更新を行った。修正内容は、絵や写真を入れ、ハチの種類や生態などを掲載して充実を図った。

問 スズメバチ駆除に関するホームページの修正を見たが、写真等も入っており、分かりやすくなった。

一方、農道整備につい

て、「前村長から分校跡地に農道の整備を行うよう指示があった。しかし、公正公平に事業を進める必要」との答弁だったが、分校跡地が、桐山地区の区での農道整備がトップダウンで進めることが決まったのか、それがそうではないように見えるため、地区等に説明して希望を募ったとも聞こえる。

改めて伺うが、桐山地区における農道整備はトップダウンで進めたのか、そうではないのか、どちらか伺う。

答 繰り返しになるが、桐山地区の農道整備は、令和5年度予算編成時に、前村長より分校跡地に農道の整備を行うよう指示があった。その後、桐山地区の座談会の中で協議をした結果、現行の農道ルートが示された。

ハチの巣の駆除は村役場では行っていません！

毎年春から秋にかけて、蜂の営巣活動が活発になり、住民の皆様から宅地内での蜂の巣駆除のご相談を承りますが、役場では、蜂の巣駆除は行っておりません。

蜂の巣駆除については次の協会を紹介しています。駆除費用はご依頼者の負担となりますので、十分確認のうえでご依頼をお願いします。

会社名	所在地	電話番号
社団法人大阪府ベストコントロール協会	大阪市中 央区	06-6942-1 891

ハチにご注意！（本村ホームページより引用）



吉田昭之議員



医療費無償化について



18歳までの医療費完全無償化に向け、令和8年度以降の実施を予定している

問 村長は所信表明で、「子どもの医療費は18歳までの医療費完全無償化



小吹台入口に設置している防犯カメラ

を実施する」と述べている。子どもの医療費完全無償化は、何かと経済的負担の多い子育て世帯にはすごくありがたい。村民の子育て世代の方も早期実現を望んでいるが、今後の見通しについて伺う。

答 現在、18歳までの医療費完全無償化に向け、

令和8年度以降の実施を予定している。

問 高校卒業後の専門学校や短大、大学への進学する場合、多額の学費等を伴い、医療費についても大きな負担となる。この際、対象年齢を22歳の学生までに拡大することはできないのか伺う。

答 村の子ども医療費については、令和4年4月から村独自で18歳まで年齢を引き上げ、医療費の一部助成をしており、令和8年度以降は18歳までの医療費の完全無償化に向け、調整をしているところ。現段階では22歳まで拡大する予定はない。

要望 今後子どもを育てていくに当たって何か村として補助的になるようなものを要望する。

村内の防犯強化を

問 最近は連日、闇バイトによる押し込み強盗が

報道され、住民の財産並びに命すら脅かされる事態が増えてきている。特に、これからの年末年始にかけて、お金欲しさに犯罪に手を染めるやからが増える可能性がある。村内の防犯強化をする必要があると思われるが、本村の対策や考えを伺う。

答 村の防犯対策は、村防犯委員による青パト防犯パトロールや定期的な特殊詐欺の啓発物品の街頭配布、村広報紙や防災行政無線による啓発記事、放送などを実施している。また、今年度より特殊詐欺対策電話機等の購入費補助も実施している。今後も、地域の駐在所とも連携を図りつつ、防犯対策の強化に努めていく。

問 小吹台地区から村に対して防犯カメラの増設について要望されていると自治会長から聞いている。その際、村の対応は、

答 地区からは、村内における不審者事案等を受けて、新たな箇所への増設について要望をいただいている。村は、今年度新たに補助内容の変更や補助金額を増額した地区活動応援補助金を活用し、地区が実施主体となり設置をするようお願いしている。

問 村の対応としては、既存の補助制度活用で対応していることだが、防犯カメラに特化した補助制度の増設などを考えていないか。

答 補助制度は、他市町村において実施されているところもあり、各地区の地区活動応援補助金の活用状況を踏まえ、先進市町の制度について調査研究していく。

要望 今後とも、村の防犯活動並びに先ほど質疑したような補助金制度などを要望する。



井上浩一 議員

問 こども食堂について

答 開設の相談等があれば、真摯に対応する

問 全国のこども食堂の数は急速に増えている、背景にはコロナ禍の影響で更に希薄になった地域のつながりを取り戻そうとする意識の高まりから、こどもを中心にした多世代交流の地域の居場所として受け入れられ、7年で公立中学校とほぼ同数となっている。

答 国も食育を推進する立場から、自治体がこども食堂を連携先と位置づけ、地域ぐるみで協力し活動遂行に役立つような環境整備を行う事を望んでいる。村でも取り組むべきだと思うが現状と考

えないが、相談等があれば社会福祉協議会とも連携しながら真摯に対応する。

問 現在、こども食堂を企画し実行しようとしているグループがあり、村以外からの支援があるそう

うだ。府の支援は実績がないと出ない、グループの立ち上げはボランティアのみでは厳しい、行政の支援が必要だ。村の学童保育利用者は70名ほどと聞く、月に一度でも地域の方々との交流を兼ねて食事を提供しても無駄にはならない。支援すべきだ。

答 現時点で開設されている所はない、支援制度もないが、今後運営されることがあれば他自治体の事例を参考に検討する。

問 予算がないと動けないとの事なら、来年度に向けての村の考えはどうか。

答 現時点では、村内で活動されている団体等は

答 支援制度の構築、予算の確保というものが必要となる、いつからということは明言できないが、令和7年度以降、他の自治体を参考に検討していきたい。

要望 前向きな答弁と捉える、支援制度等をつくって欲しい。

防犯カメラについて

問 3月議会にも質問したが、村が把握している

防犯カメラの設置状況は。また、近年の強盗事件の多発や地区進入路2系統にカメラがない事から、小吹台地区の防犯カメラ増設の要望について村の考えを伺う。

答 富田林警察の意見も聞きながら主要箇所を選定、13カ所に設置している。要望については「地区活動応援補助金」を活用するようお願いしている。

問 近隣市町では既に実施されている防犯カメラに対する補助金、助成金の制度があり、制度を活用し、運用されている。

制度がないのは、近隣では村のみ。今回の要望については、村全体に及ぶ問題であると捉え、しっかりと話し合い、合意すべきと考える、この点を踏まえ、方針を伺いたい。

答 地区活動応援補助金は防犯カメラにおいても全額を補助対象としている。昨今の国内の犯罪発生状況や体感治安が悪化していることも考慮し、各地区の地区活動応援補助金の活用状況を踏まえ、他市町村で実施されている防犯カメラ等に対する補助制度について調査研究する。

問 再答弁の答えは十分なので補足を望む。

再答弁で、「防犯カメラ等に対する補助制度について調査研究してい

く」とあるが、いつまでにか伺いたい。

答 現在の設置箇所は、警察の意見を伺い設置しており、防犯カメラの役割は一定満たしていると考えてる。

要望のあった小吹台地区へは、引き続き丁寧の説明していく。

また、補助制度は様々な課題がある、今年度中には一定の答えを出したいと考える。

その他、3問の質問をしています。ユーチューブ動画をご覧ください。
・女性防災担当職員の配置、また女性・子ども・高齢者の備蓄用品について
・認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
・保険診療報酬等の支払について



田村 陽議員

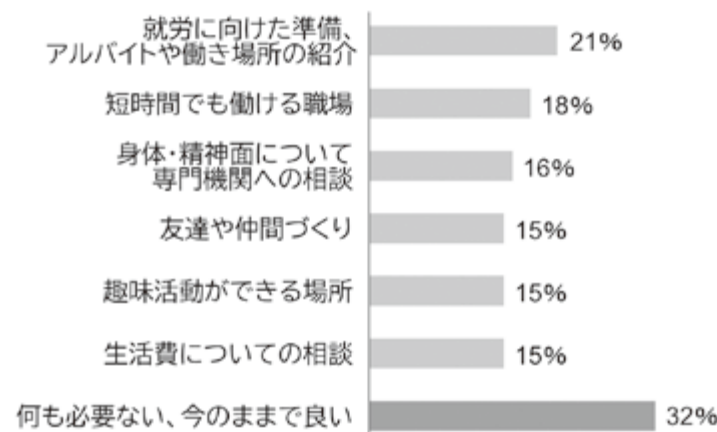
問

小吹台―役場間の交通の便確保を

答

地域間における移動手段についても検討していく必要がある

ひきこもり当事者が求めているもの



令和3年度江戸川区ひきこもり実態調査より

ひきこもり当事者が求めているもの

【問】 バス・電車で小吹台から役場など赤阪地区へ向かうには河内長野市や富田林市を経由しなければならぬ。到底現実的とは言えない。免許返納しても気軽に役場やくすのきホール、いきいきサロ

【問】 内閣府が昨年行った調査によると、現役世代の50人に1人がひきこもり状態にあるという。ひきこもりは若者の問題と考えられがちだが、現実

ひきこもりへの支援策は

【要望】 前向きな答弁だと思ふ。まずはできることから始めていってほしい。

【答】 臨時バス運行についても各事業担当課と検討を進めていく。

【問】 手始めとして、イベントの際に小吹台地区から臨時バスを運行してみては。

【答】 今後地域間における移動手段についても検討していく必要があると認識している。

【答】 今後地域間における移動手段についても検討していく必要があると認識している。

【要望】 アンケート調査を実施すれば、声を上げにくいと感じている方々も

【答】 ひきこもりの人やそ

【問】 村のほうからもっと積極的にアプローチして

【答】 過去に戸別配布対応

【問】 せんだつて行われた

【答】 せんだつて行われた

選挙公報未配布問題に対策は

【要望】 配布漏れが事前にある程度想定できたにもかかわらず十分な対策が取られていたとは到底言えない。その点はしっかりと反省を。

【答】 配布世帯をリスト化する

【問】 あらかじめ対策することはできたのでは。

【答】 過去に戸別配布対応

【問】 せんだつて行われた

【答】 せんだつて行われた

には40代以上がほぼ半分以上を占めている。今は年金などの収入があっても、今後困窮していかざるを得ないことは十分に予測可能だ。村として何かできることはないか。

答えやすいかと思う。ぜひとも実施してほしい。



「金剛山の安全対策」について



金剛警備隊が待機している



徳丸初美議員



問 登山者が増加する金剛山。一方で、年に何度か遭難者の報道もある。最近の金剛山での事故・遭難件数を伺う。

答 令和3年度27件、令和4年度16件、令和5年度9件と減少したもの

の、現状は横ばいである。令和3年度には、推奨している登山ルート外に勝手に入り事故となる事例が多くあったため、村・大阪府・奈良県をはじめ、消防・警察・関係12団体で構成する金剛山安全対策推進連絡会を立ち上げ、推奨ルート以外の進入口にロープと貼り紙をし、事故の未然防止に努めている。

ており、事故発生時は、119番通報により大阪南消防局が負傷者の救助に出動することとなっている。

【要望】 金剛山の山道は、

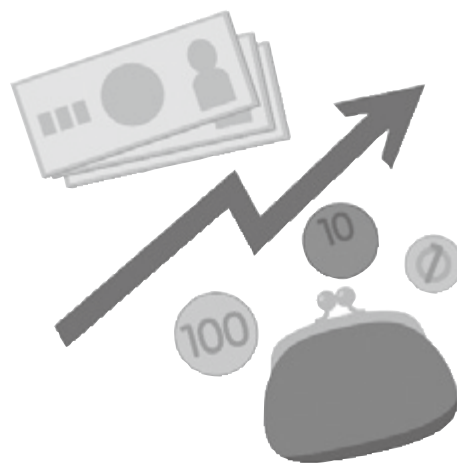
出し合い道といって、切り出した木を運び出すための道で、全て個人所有であると聞いている。そういった点では大変ではあるが、大阪府やいろんな団体とも連携を取り、遭難者が一人でも減るような対策を要望する。

生活支援策を

問 生活支援対策として日本共産党が要求していた赤ちゃんのおむつ支給を実施し感謝する。

国の補助にて水道料金基本料の減免なども行っていたが、物価高騰は拡大しており、村独自のさらなる生活支援施策がないか伺う。

答 物価高騰は全国的な



ものであり、国の施策として対応するものと認識している。水道料金の減免については、国が創設した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し実施した。村の財政では、現時点において村独自の物価高騰対策は非常に困難と考える。

道料金減免などを検討しているとの報道がある。現在、国から村にどのような通知が来ているのか伺う。

答 国から村に対して詳細な通知はない。詳細が分かったら、議会に対しても情報提供していく。

【要望】 村単独の対策は困難とのことだが、何らかの支援を強く要望する。

問 石破内閣が物価高騰対策として重点支援交付金の増額や灯油支援、水



藤浦 稔議員

問

農業地域計画の進捗状況について

答

令和7年度に完成の予定

問 10年後に目指す地域の農地利用を示した地域計画の策定が義務づけられ、村でも令和5年度よりアンケート調査及び地区ごとに農地所有者などの座談会を実施している。

農業担い手不足など課題が山積みしている中で地域計画策定は今年度中であるが、進捗状況は。

答 地区座談会での農業従事者の高齢化・担い手不足・鳥獣被害対策・農道水路の維持管理、補修などの課題を取りまとめ村ホームページで公表、及び地域計画（案）を策定し、令和7年度に完成の予定。

問 農業従事者の高齢化、担い手不足、鳥獣被害や農道、水路の維持管理など様々な課題があるが村としてはどのように対応を考えているのか。

答 地区座談会では様々な課題があった。中でも農道、水路の維持補修に対する補助要望が多かった。

村として、現状の補助制度の拡充に向け検討を進め継続的に営農できる環境づくりに努める。

要望 「農道・水路の維持補修に対し検討する」と前向きな答弁で、村の農業の実情に合った営農意欲・後継者の育成に努めてもらいたい。

地域子育て支援拠点「ひまわり」の状況

問 「ひまわり」の利用者の状況を伺う。村長マニフェストでは、利用者の意見を聞き充実を図る

となっているが。

答 令和5年度の利用者数は、一日当たり平均11人となっている。

今後については、保護者に対するアンケート調査を踏まえ、利用者の声を聞き充実を図る。

問 アンケート調査で、どのような意見があったのか。

答 50組に行った。主には「休日開設」「小学生低学年の利用」など意見があった。

問 「休日利用」の意見が多いが村長の考えは。

答 月1回程度、土曜日に開設する方向で調整する。

要望 利用者の意見を踏まえ、さらなる充実に取り組んでほしい。

楠公誕生地周辺活性化交流拠点事業

問 「この計画は見直す」などのことであるが、今後はこの事業をどうして行

くのか。

答 事業の手法など課題整理が必要と判断した。

今後は、道の駅を中心に交流拠点事業を進めるが、大阪府と連携して協

力や支援を協議してい

く。

要望 地に足の着いた事業を行い大阪府の支援が得られるよう努力してほしい。



地域子育て支援拠点「ひまわり」

令和6年度
人権啓発活動
堺・南大阪地域ネットワーク協議会

講演会
インターネットと人権
ネット被害者にも
加害者にもならないために

2024
10月8日(火)
会場 13:30~
開演 14:00~16:00

千早赤阪村
2階 会議室
少額入場券
(70名程度)

講師
石川 千明 さん

石川さんは、大阪府堺市出身。大阪大学第一高等学校を卒業後、(株)カブコムに入社。ゲーム企画開発部員。2017年に退職後、Web企画デザイン会社、クラウドワークスにて活動。2018年に「被害者ネットを設立」子育て支援活動開始。10年ぶりの母校・千早赤阪村に引き寄せられ、11年ぶりの帰郷となる。被害者ネットとは、被害者にも加害者にもならないための情報ゼロを目標としている。

(主催) 千早赤阪村 千早赤阪村役場総務課 電話 0721-26-1188(常勤)
主幹 千早赤阪村 人権啓発活動幹事 南大阪地域ネットワーク協議会(事務局事務局)

人権啓発活動
堺・南大阪地域ネットワーク
協議会 講演会を聴講(10/8)

くすのきホール2F会議室にて
インターネットと人権「ネットに
被害者にも加害者にもならないた
めに」と題して行われた。SNS
トラブル、ネット炎上、個人情報
リスク等実例を挙げながら情報モ
ラルについて講演。社会問題とな
っている案件について考察し対処
法や課題等を提起された。イン
ターネットが不可欠となっている
現状では議会対応も重要案件だと
感じた。

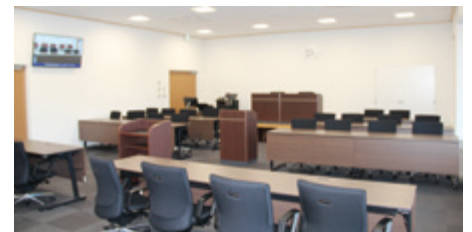
防災フェスタ&総合防災訓練
多聞尚学館運動場(12/1)にて
①震災発生直後における自助、共
助の促進
②行政及び各防災機関の連携によ
る災害対応能力の向上



総合防災訓練の様子

③防災意識の啓発
これらを目的に南海トラフ地震
を想定し、自衛隊・消防・警察等
関係機関が参加する防災訓練が行
われ参加した。
会場では、各団体の広報ブース
活動、炊き出し訓練、自衛隊によ
る救護所開設訓練、防災クイズ等
が行われた。
会場外では、消防による一斉放
水や指定避難所での住民の参加に
よる避難訓練が行われた。
昨年年頭の地震や、後の豪雨災
害を思い、改めて身の引き締まる
思いだ。

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

3月4日(火)から3月19日(水)です。
3月4日(火) 本会議 初日
(議案上程、代表質問) 午前10時
3月5日(水) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時
3月6日(火) 文教建設常任委員会及び総務民
生常任委員会 午前10時
3月10日(月) 当初予算特別委員会 (1日目)
3月11日(火) 〃 (2日目)
3月13日(木) 〃 (3日目)
3月19日(水) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合が
あります。

傍聴される場合は、議会事務局までご確認
ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑感

能登半島は12月に入っ
て大雪となつていと報
道された。地震と豪雨で
沢山の方々が被害に遭わ
れた中で、未だ被災地の
方々は不安を募らせてい
る。そして大雪の続く可
能性もある。地震で被災
し家屋などを失い、未だ
仮設住宅や避難所に避難
され、不便な生活をしい
られている。

昨今の大災害に危機感
をもった村では、令和7
年4月に「自治防災課」
を新設し、さらなる自助・
共助・公助の向上を目指
し、環境面や心理面に備
え、災害に対応すること
になった。
「備えあれば憂いなし」
といった、ことわざがあ
る。安全で豊かな未来を
築いていくためには、事
前の準備が大切であり、
村民としては安心なこと
にもなる。

藤浦

広報編集委員会

委員長	服部幸令	副委員長	田村 陽
委員	井上浩一	委員	徳丸初美
委員	吉田昭之	議長	千福清英